



ファッション衣料品店舗における差異調査を含む棚卸

ケーススタディ: 小売業棚卸 – ファッション・アクセサリー小売企業

ファッション・アクセサリー小売企業は、婦人服店165店舗全店において差異調査を含む棚卸を実施できるソリューションを必要としていました。

ファッション衣料品店舗における差異調査を含む棚卸

ケーススタディ: 小売業棚卸 – ファッション・アクセサリー小売企業

世界的な既製服ファッション・アクセサリー市場のリーダーである同社はRGISのサポートを必要としていました。同社は41ヶ国に1,632の販売拠点を持ち、女性・男性向け既製服ファッションとアクセサリーを提供しています。ブランドの店舗は同社の戦略にとって必要不可欠であり、同社は世界中の顧客にリーチできるよう年間約100店舗に投資をしています。

要件

すべての店舗で一貫した手順での棚卸を実施したいと考え、同社はRGISに以下の内容を依頼しました：

- 165店舗で棚卸を実施
- 全店舗で統一した手順での実施
- 店舗スタッフや買い物客の迷惑にならないよう営業時間外での実施
- 店舗ごとに棚卸後に差異調査を実施

ソリューション

同社はRGISと提携して、差異調査を伴う店舗棚卸を完了し、以下を実現しました：

- 各店舗に2～5人の経験豊富なRGISスタッフを配置
- 棚卸作業はすべて営業開始前または営業終了後に実施
- 1店舗あたり4時間を割り当て
- 各店舗で全商品をスキャン
- 各店舗で差異調査を実施

結果

差異調査を伴う店舗棚卸をRGISにアウトソーシングすることにより、次の結果が達成されました：

- 165店舗すべてで営業時間外に棚卸を実施
- 一店舗あたり2000～4500アイテムをカウント

RGISと提携することにより、同社は店舗スタッフや買い物客に混乱をもたらすことなく、165店舗全店での棚卸が営業時間外に完了



© 2024 RGIS. 無断転載を禁じます。
RGIS_CS_0120_01

棚卸



経験豊富なチーム



情報収集



差異調査



今すぐお問い合わせください